

from the world
世界の国から

ウガンダ共和国

Republic of Uganda



イッサ・ムカサ氏

ウガンダ投資庁
投資促進部 部長

Mr. Issa MUKASA

Director, Investment Promotion Division
Uganda Investment Authority (UIA)

首都 カンバラ
面積 24.1万平方キロメートル(ほぼ本州大)
人口 2,990万人(2006年 世銀)
政体 共和制
元首 ヨウェリ・カグタ・ムセベニ大統領
言語 英語、スワヒリ語、ルガンダ語
通貨 ウガンダ・シリング
日本からの主な進出企業
2社(シャツ・メリヤス加工、自動車)



「東南アフリカ共同市場」の中心的役割をになう国

アフリカの真珠といわれる美しい国

東アフリカ高原に位置し、ビクトリア湖など豊富な水資源を有する風光明媚なウガンダは、アフリカの真珠と言われる美しい国です。

今回は4度目の来日となりましたが、石油代替エネルギーのジャトロファやバナナ繊維を使った新製品開発など、アフリカ開発会議の開催と併せこれまで以上の注目を得ることができました。

注目の新素材バナナ繊維

ウガンダではコーヒー、バナナ、綿花、紅茶など豊富な農作物を生産しています。特にバナナはインドに継ぐ世界第2位の生産量を誇ります。現在、多摩美術大学がバナナの茎から繊維を抽出して糸や紙、布などを作り新しい製品づくりを進めています。この試みは資源を有効活用し、地球環境にも優しい取り組みと言えるでしょう。わが国で生産されるオーガニックコットンと組み合わせることで、更に付加価値が高まるものと期待しています。

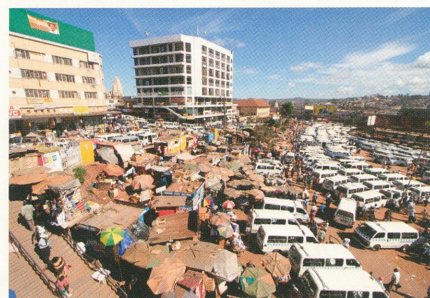
また、ナイル川の流域に位置する国

ナイル河上流のマーチソン滝
(写真提供: (株)道祖神)

土は、豊かな淡水にも恵まれ、セラピアなどの養殖やワニ皮の加工品の生産なども行われています。鉱物資源の面でも、鉄鉱石やリン鉱石など多様な資源が産出されている他、金や石油の埋蔵も確認されています。

東南アフリカ経済の中心的役割をになう

ウガンダはアフリカ連合(AU)や東アフリカ共同体(EAC)に加盟し、3億人規模の巨大な市場がひかえています。自由経済の下で成長を続け、平均経済成長率は6%台で安定し、海外からの投資受け入れ環境の整備にも力を注いでいます。豊富な水量を利用し、2,700メガワットの電力供給が見込まれています。交通インフラの面でも、隣国ケニアの港湾都市モンバサへの鉄道・道路網の整備や、スーダン、コンゴへの鉄道の施設など、物流のキャパシティが大きく広がっています。また、国内20の大学から優秀な人材を供給することもできます。このような環境の下、ウガンダでは幅広い分野への海



カンバラのマーケット・タクシー乗り場
(写真提供: 加倉大輔)

外からの投資を受け入れており、機器輸入に対する無関税制度や様々な優遇措置を講じています。

日本とのビジネスに期待

日本との関係では、オーガニックコットンを使用した製品や養蚕などで企業進出や技術移転がありました。また、最近では自動車ディーラーが進出し、国内の中古車の約9割は日本車が占めています。2012年までに日本からの直接投資が2倍に膨らむことを期待しています。

ウガンダは天然資源に恵まれた安全で美しい国です。手付かずの自然の中で多くの野生動物が生息し、観光的にも魅力あふれる国です。是非ウガンダを訪れて、投資機会を見つけてください。



カンバラ中心部 (写真提供: Peter M)